

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	公民館整備事業	担当部署	中央公民館
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習施設の計画的改修		
対象	公民館整備事業		
手段(方法)	公民館施設を必要に応じ補修・む改修し、また公民館付属備品を適正配備する。		
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	誰も利用しやすい備品等を整備することにより、生涯学習活動の活性化を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務
根拠法令・条例等	社会教育法第22条		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度	～	年度
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	30年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施	達成状況 100 %
	元年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施	達成状況 100 %
	2年度計画	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施	達成状況 - %
	2年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施	達成状況 100 %
	3年度計画	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
施設整備公民館数		8	8	8	4	9
備品整備公民館数		8	8	8	6	9
整備図書数		720	630	700	570	420
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
施設整備修繕(大規模含む)		12,404,814	5,910,934	1,200,000	1,193,500	3,800,000
備品等整備		1,291,971	1,238,105	1,200,000	1,190,816	1,000,000
図書整備		935,358	887,995	800,000	792,470	500,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	14,632,143	8,037,034	3,200,000	3,176,786	5,300,000
直接事業費総額		14,632,143	8,037,034	3,200,000	3,176,786	5,300,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	25	25	25	12	8
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数				34	38
人件費総額		475,000	475,000	467,500	503,200	461,200
総事業費計		15,107,143	8,512,034	3,667,500	3,679,986	5,761,200
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	施設修繕の整備内容により大幅な減額となっている。				
	2年度予算と3年度予算の比較	電気設備の大規模な対応が必要となったことから、3年度予算は大幅な増額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	地区公民館8館にも竣工年度の違いがあるが、相対的に年数が経過しており、施設の老朽化に伴い不具合等の発生頻度が増加しており、一律に予算を削減することにより緊急対応が困難となっている。
市民のニーズ・満足度	市民の方からも老朽化による不具合に意見をいただくこともある。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	日常の管理点検により施設老朽化による不具合等への対応に心掛けているが、急な設備の故障等の発生も年々多くなっており、計画している修繕だけでなく急な修繕の予算も確保する必要がある。
次年度予算への見直し方針	地区公民館8館の経過年数等も勘案した上で、緊急性、必要性の優先順位を明確にし、特に施設利用者の安全確保を第一として、順序立てて整備を図るよう計画を再度点検する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	施設老朽化に伴う計画的な修繕に努めているものの、突発的な故障、不具合も発生する頻度が増加しており、修繕が必要であるにもかかわらず改修できていない箇所が増加しているため、抜本的な修繕工事も念頭に置き計画を見直す必要もある。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 老朽化により必要となる修繕を行うとともに、更新時期を迎えた電気設備の改修作業を実施する。
	4年度以降の展開方針 老朽化等により修繕の必要が生じた場合の対応を行う。図書については計画的に周辺地区住民のニーズにあった図書の充実を図る。
部長の確認所見	安全性に配慮し、優先順位を考慮して対応する必要がある。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	市民会館整備事業	担当部署	市民会館			
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習施設の計画的改修					▼
対象	会館利用者(会議・集会等)					
手段(方法)	市民会館施設を適正な状態に維持管理するため、計画的に各建築設備等をリニューアルするとともに、備品等を老朽化による更新や時代にあった新しいものに整備する必要がある。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	改修工事等を実施することにより、利用者が安全で快適に施設を利用できるように整備する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等						
その他実施の根拠	老朽化設備のリニューアル工事					
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	市民会館施設、及び付属設備の充実を図る。					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施			達成状況	100 %
	元年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施			達成状況	100 %
	2年度計画	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施			達成状況	- %
	2年度実績	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施			達成状況	100 %
	3年度計画	日常の管理・点検及び修繕や備品購入を適切に実施			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
改修等工事		デッキ床タイル改修外	照明器具改修工事外	照明器具改修工事	照明器具改修工事	冷却塔整備工事外
施設修繕数		1	2	0	1	1
備品整備数		2	2	0	0	1
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
改修等工事		14,144,760	9,964,900	2,750,000	2,750,000	2,300,000
設備修繕		846,720	0	0	0	1,200,000
備品等整備数		136,944	142,854	0	0	200,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債		6,300,000		2,400,000	
	その他					
	一般財源	15,128,424	3,807,754	2,750,000	350,000	3,700,000
直接事業費 総額		15,128,424	10,107,754	2,750,000	2,750,000	3,700,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	24	24	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					12
人件費 総額		456,000	456,000	448,800	448,800	322,800
総事業費 計		15,584,424	10,563,754	3,198,800	3,198,800	4,022,800
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	2年度は館内照明LED化工事であるが、工事規模の減少により工事費は前年度より減額となっている。				
	2年度予算と3年度予算の比較	空調設備の冷却等整備及び地下駐車場対応の泡消火設備の修繕の対応が急遽必要となったため、令和3年度については前年度比約700千円の増額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	建物・設備が老朽化し、更新を要する設備は多くあるが、財政上の理由などで更新が遅れている設備が多くみられる		
市民のニーズ・満足度			
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	3
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	施設自体が非常に老朽化しており、適切な維持管理に努めてはいるものの、修繕が必要となる箇所が多数存在しているのが現状であり、計画的な施設設備のリニューアルが必要である。
次年度予算への見直し方針	施設の計画的なリニューアルに努めているが、市全体の事業、財政事情との兼ね合いがあるため、市民会館内部でもさらに優先順位を考慮しての計画的な改修の実施が必要である。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2 継続(現状維持) ▼ 市民会館も竣工後50年近くが経過しており、施設設備が相当老朽化しており、非常用自家発電設備や空調配管設備など施設利用者の安全性の観点からも早期に改修工事が必要な施設や今直ぐにはではないが改修が必要な部分等が多数存在しており、重要度を見極め、引き続き順次計画的に施設の更新を図り会館自体の長寿化に努めたい。

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()	
今後の方向性	右の該当を選択	2 継続(現状維持) ▼
	3年度の取り組み方針	空調設備の冷却等整備及び地下駐車場対応の泡消火設備の修繕を行う。
	4年度以降の展開方針	非常用自家発電設備改修、空調配管設備の更新など大きな事業もあり、利用者の安全性等を考慮して優先順位の高いものから計画的に実施する。
部長の確認所見	優先順位を考慮し、適切な整備を図る。	

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 285

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	生涯学習専門員設置事業		担当部署	中央公民館		
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習推進体制の整備					▼
対象	地区住民					
手段(方法)	教師経験のある生涯学習専門員が、高齢者大学を中心とした生涯学習講座の指導、助言等を行う。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	生涯学習講座の指導・助言及び実施、生涯学習の情報提供・相談についての指導・助言等を行うことにより、赤穂市の生涯学習の総合的な推進と充実を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	社会教育法第22条					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	こころ豊かな地域づくり、生涯学習の推進、人権学習、青少年育成に関する指導・助言の機会を提供する。					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	活動件数417件		達成状況	97	%
	元年度実績	活動件数413件		達成状況	96	%
	2年度計画	活動件数430件		達成状況	-	%
	2年度実績	活動件数458件		達成状況	100	%
	3年度計画	活動件数430件		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
こころ豊かな地域づくり推進運動		10	1	10	0	10
人権学習推進活動		40	41	40	60	40
生涯学習推進運動(諸情報提供)		350	345	350	328	350
青少年健全育成活動		10	1	10	0	10
その他の活動		20	25	20	70	20
合計		430	413	430	458	430
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
		1,860,000	1,860,000	2,375,000	2,281,190	2,559,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,860,000	1,860,000	2,375,000	2,281,190	2,559,000
直接事業費総額		1,860,000	1,860,000	2,375,000	2,281,190	2,559,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	120	120	120	6	2
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数				124	128
人件費総額		2,280,000	2,280,000	2,244,000	1,129,000	1,087,000
総事業費計		4,140,000	4,140,000	4,619,000	3,410,190	3,646,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	生涯学習専門員が会計年度任用職員となったことにより、直接事業費が増加したものの、一般職員と臨時職員の区分の再確認により総事業費は減少となった。				
	2年度予算と3年度予算の比較	一般職員と臨時職員の区分の再確認により減額となった。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	公民館により業務内容に差異がある。		
市民のニーズ・満足度	一定の評価を受けている。		
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	地区公民館及び地元住民の意識の違いにより生涯学習に対する熱意に差異があるものの、高齢者大学講座の指導、助言を効率良く実施することにより、各公民館の独自性を重んじながらも館ごとの偏差を少なくしていく必要がある。		
次年度予算への見直し方針	生涯学習専門員は1名での運営を継続していかねばならないが、中央公民館の休館日である月曜日も勤務となっているため、館職員との連携が図りづらく、地区公民館での勤務となるため執務環境が整っておらず勤務形態を再検討する必要がある。		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	財政的に生涯学習専門員は1名での運営となっており、中央公民館及び地区公民館8館の高齢者大学を中心とする講座の取りまとめ、運営を行うことは非常に業務範囲、業務量とも負担が大きいが、各館職員が協力しより充実した学習内容にしていかなければならない。		

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	3年度の取り組み方針	高齢者大学講座の内容の充実、講師の選択、人権学習などの助言その他講座企画の情報提供など効率の良い運営を行う。	
	4年度以降の展開方針	1名体制で継続して実施していく。	

部長の確認所見	企画内容の充実に努め、ニーズを把握すること。
---------	------------------------

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 286

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	公民館事業(特色、成年婦人、子ども、歴史発見、大学開放、カレッジ、国際理解、生きがい各講座)	担当部署	中央公民館
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習の充実		
対象	地域住民		
手段(方法)	高齢者には生涯学習等、成人女性に対しては子育て等、また子どもには学校で得られない経験の機会を提供する。		
手法(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	生きがいづくり、地域リーダーの育成、子どもの健全な心身の育成に資する。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	社会教育法第22条		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	30年度実績	講座回数582回	達成状況 100 %
	元年度実績	講座回数578回	達成状況 100 %
	2年度計画	講座回数367回	達成状況 - %
	2年度実績	講座回数231回	達成状況 63 %
	3年度計画	講座回数330回	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
講座開催回数		582	578	278	207	330
講座受講生数		2,634	2,494	1,198	524	1,676
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
		3,986,078	3,759,288	3,479,000	1,940,361	3,890,000
財源内訳	国県支出金	320,000	230,000			
	地方債					
	その他	496,500	451,300	715,000	356,000	655,000
	一般財源	3,169,578	3,077,988	2,764,000	1,584,361	3,235,000
直接事業費 総額		3,986,078	3,759,288	3,479,000	1,940,361	3,890,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	4	4	4	60	50
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	471	469	471	466	476
人件費 総額		3,278,800	3,312,100	3,937,000	4,943,200	4,838,200
総事業費 計		7,264,878	7,071,388	7,416,000	6,883,561	8,728,200
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発令されたことから、その間については公民館主催講座の開催を取り止めることとなったため、開催回数が約2/3となった。したがって費用の支出も減少したが、同時に講座参加料も少なくなった。				
	2年度予算と3年度予算の比較	令和3年度においては、前年度より5.1%減の予算額となっており、講座内容の見直しも併せて講座回数は37件減となっている。また、一般職員と臨時職員の業務割合を整理したことにより人件費が増額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	講座参加者の固定化や減少により、より魅力ある市民ニーズに対応した講座の開催を検討する必要がある。
市民のニーズ・満足度	講座参加者の満足度は高い。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="63"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	新型コロナウイルスの感染防止対策と講座開催結果の分析により、次年度への対応を検討していく。
次年度予算への見直し方針	講座開催結果、受講者の人数や評価等により、市民ニーズの分析を行い、受講者の少ない講座については特にその在り方を検討し、講座全体を含めた内容、効果等を勘案し、継続、廃止、新規等を検討し、充実した魅力ある講座を実施していく。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 学習効果が地元に戻元できる講座の開催、講座を通じた地域のリーダーや講座講師の育成を推進する。また地域住民の自発的な活動を推進し得る講座開催を多方面から検討していく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 講座開催結果を基に、講座の内容を検討する等充実した魅力ある講座を企画する。
	4年度以降の展開方針 地域住民の自発的な活動を推進できるような講座開催を検討する。
部長の確認所見	対象者のニーズを把握、検討し、内容的に充実した講座等を実施する必要がある。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 287

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	高齢者にやさしい公民館づくり事業	担当部署	中央公民館			
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習施設の計画的改修					▼
対象	公民館を利用する高齢者					
手段(方法)	高齢者の利用に適した備品等を整備していく。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	生涯学習講座の指導・助言及び実施、生涯学習の情報提供・相談についての指導・助言等を行うことにより、赤穂市の生涯学習の総合的な推進と充実を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	社会教育法第22条					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	30年度実績	会議用机15台		達成状況	100	%
	元年度実績	温水洗浄便座3台取付		達成状況	100	%
	2年度計画	会議用机		達成状況	-	%
	2年度実績	会議用机11台、スタッキングチェア26脚、ポータブルCDシステム		達成状況	100	%
	3年度計画	会議用机20台		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
会議用机		15		10	8	10
椅子					26	
テーブル					3	
その他備品					1	
施設修繕			3			
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
		669,600	401,368	700,000	688,996	700,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	669,600	401,368	700,000	688,996	700,000
直接事業費総額		669,600	401,368	700,000	688,996	700,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	6	6	6	2
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	4	4	4	4	8
人件費総額		141,200	141,600	145,000	145,000	103,000
総事業費計		810,800	542,968	845,000	833,996	803,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	事業の内容がトイレ修繕から会議用机等の備品整備になり、決算額が増加した。				
	2年度予算と3年度予算の比較	令和3年度も令和2年度同様の整備を計画している。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	高齢者のみならず、だれもが利用しやすい施設として整備を行う
市民のニーズ・満足度	利用者の満足度は高い
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	軽い椅子やキャスター付きの机の整備により、高齢者にとっても利用しやすい公民館の環境を整備しているが、老朽化している施設の対応を必要である。
次年度予算への見直し方針	備品購入のみならず、施設整備(修繕)についても順次対応を行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	備品購入のみならず、施設整備(修繕)についても順次対応を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 高齢者にとって利用しやすい、扱いやすい備品を整備していく。
	4年度以降の展開方針 計画的に地区館の実情に合わせた施設や備品の整備を実施し、高齢者にとって利用しやすい施設とする。
部長の確認所見	多方面から高齢者への配慮を行う。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 552

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	高齢者大学	担当部署	中央公民館			
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習の充実					▼
対象	60歳以上の地域住民					
手段(方法)	各公民館において、月2回以上は開催し、高齢者の生きがいを増進する。(4年制)					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	生涯学習講座の指導・助言及び実施、生涯学習の情報提供・相談についての指導・助言等を行うことにより、生涯学習の総合的な推進と充実を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	社会教育法第22条					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	30年度実績	講座回数130回		達成状況	100	%
	元年度実績	講座回数130回		達成状況	100	%
	2年度計画	講座回数130回		達成状況	-	%
	2年度実績	講座回数 0回		達成状況	0	%
	3年度計画	講座回数130回		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
講座開催回数		130	129	130	0	130
講座受講生数		229	232	230	0	205
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
		2,007,852	2,160,624	2,056,000	179,668	2,050,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,007,852	2,160,624	2,056,000	179,668	2,050,000
直接事業費総額		2,007,852	2,160,624	2,056,000	179,668	2,050,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	358	358	358	20	52
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	194	194	194	236	536
人件費総額		8,121,200	8,140,600	8,285,400	2,309,200	5,367,600
総事業費計		10,129,052	10,301,224	10,341,400	2,488,868	7,417,600
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言と、重症化しやすい高齢者への感染防止を図るため、高齢者大学についてはカレッジを含め開催出来なかったことにより決算額は大幅に減少した。				
	2年度予算と3年度予算の比較	高齢者大学講座の開催予定回数については前年同様であるが、一般職員が1名減少し館長だけになったことから人件費を再確認し一般職員と臨時職員の振り分けを見直したことから人件費予算が減少した。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)					
事務事業遂行上の課題	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、高齢者への感染防止を図るため、計画していた講座については全て中止となった。高齢者の多様化するニーズへ対応した生涯学習教育に努め、さらなる魅力ある講座の実施についての方向性を探る必要				
市民のニーズ・満足度	令和2年度は講座開催0であり、新型コロナ対策を講じ開催すること、より多くのニーズに応える継続的な検討が必要である。				
連携事業					
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄		
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等に対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等に対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	2	理由等所見欄		
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている				
有効性	目標達成度	0	%	理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入		1		
<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()					
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)					
事務事業実施による成果と課題	高齢の学生の多様なニーズに応えられる魅力ある内容の充実した講座の企画し、学生主体に運営を図っていくことにより、高齢者が高齢者大学を楽しみとし、生きがいに感じられ、充実した人生を送ることができるような講座とする。				
次年度予算への見直し方針	高齢者大学が高齢者の生活の充実に寄与することができる魅力ある運営、満足度の高い運営に努める。				
関連部課等との協議状況					
関連部課					
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 高齢人口も減少となる時代に入っており、高齢者大学、カレッジに在籍する学生数も地区によっては大きく減少する傾向が見られる。学生数を確保するために、高齢者大学の講座の内容、企画、運営の充実し、高齢者の生活の一部となる魅力ある講座となるように努める。				
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)					
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2			
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持) ▼			
	3年度の取り組み方針	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者大学の講座の内容、多彩な講師の選定等、企画の充実に努める。			
	4年度以降の展開方針	高齢者といえども人口減少時代に入っており、学生数も減少傾向にあるため、高齢者大学の魅力ある運営、企画の充実に努め、学生数の増加を図る。			
部長の確認所見	講座内容について、より充実したものとして学生数の増加に努める。				

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 553

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input checked="" type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	文化教室	担当部署	中央公民館			
総合計画上の位置付け	学び-生涯学習・スポーツ活動を推進する-生涯学習を充実する-生涯学習の充実					▼
対象	主に16歳以上の地域住民					
手段(方法)	高齢者には生涯学習等、成人女性には子育て等、また子どもには学校で得られない経験の機会を提供する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	生きがいつくり、地域リーダーの育成、子どもの健全な心身の育成に資する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	社会教育法第22条					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	30年度実績	講座回数120回		達成状況	100	%
	元年度実績	講座回数112回		達成状況	93	%
	2年度計画	講座回数120回		達成状況	-	%
	2年度実績	講座回数 80回		達成状況	67	%
	3年度計画	講座回数109回		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
講座開催回数		120	112	120	80	109
講座受講生数		259	287	350	202	285
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
		773,813	725,839	777,000	491,851	726,000
財源内訳	国県支金					
	地方債					
	その他	134,000	179,555	215,000	111,000	205,000
	一般財源	639,813	546,284	562,000	380,851	521,000
直接事業費 総額		773,813	725,839	777,000	491,851	726,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	230	230	230	16	14
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	28	28	28	122	124
人件費 総額		4,560,400	4,563,200	4,530,600	1,299,600	1,278,600
総事業費 計		5,334,213	5,289,039	5,307,600	1,791,451	2,004,600
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発令されたことから、その間については講座の開催を取りやめることとなったため、開催回数が約2/3となった。したがって費用の支出も減少したが、同時に講座参加料も少なくなった。				
	2年度予算と3年度予算の比較	令和3年度においては、前年度より6.5%減の予算額となっており、講座内容の見直しも併せて講座回数は11件減となっている。さらに、一般職員と臨時職員の業務割合を整理したことにより人件費が減額となった。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	継続実施している講座については、サークルへの移行、事業の中止を検討し、時代に応じた教室を提供していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	住民の満足度は個人により違いがあるとは思いますが、講座への期待は高いと思われる。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒⇒⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
執行体制の効率性	目標達成度 67 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	開催結果の分析により、次年度への対応を検討していく。
次年度予算への見直し方針	講座開催結果により、内容、効果、効率等を勘案し、継続、廃止、新規等を検討し、充実した魅力ある講座の企画を実施していく。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 地域住民のニーズや、時代の変化に対応し、文化活動の促進と生きがいづくり、健康づくりの機会創出のため、講座内容の見直し等を図りながら、充実した内容の講座となるよう実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 前年度開催結果を分析・評価して、講座の継続・廃止等を判断し、市民ニーズに即した魅力ある講座を実施する。
	4年度以降の展開方針 前年度開催結果を分析・評価して、講座の継続・廃止・新規等を検討し、市民のニーズや時代に即した魅力ある講座を実施する。
部長の確認所見	事業内容について、市民のニーズを把握し、よりよいものを取り入れていく必要がある。